

「準天頂衛星を活用した高精度衛星測位システムの高度化」開発完了のご報告

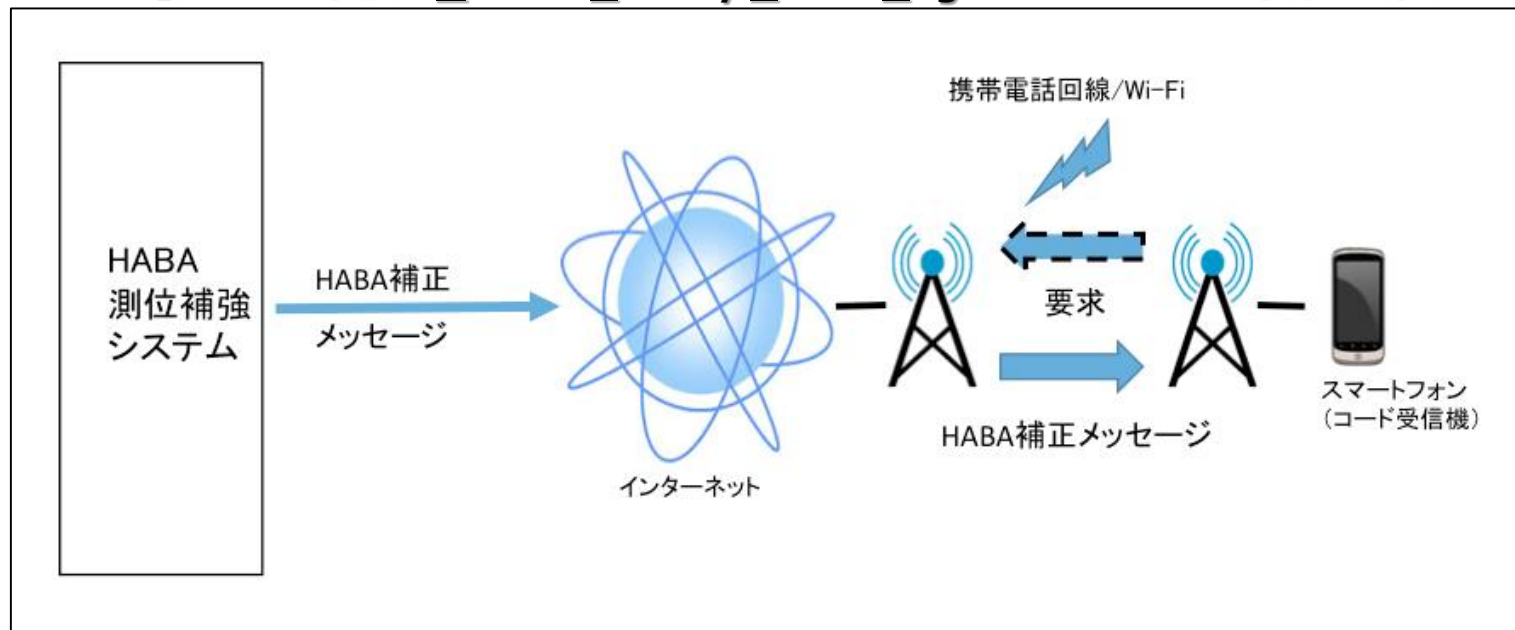
「準天頂衛星を活用した高精度衛星測位システムの高度化（HABA）」共同開発プロジェクト

2014年度末より継続しておりました、「準天頂衛星を活用した高精度衛星測位システムの高度化」の共同開発が完了しました。当社は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、人に優しい測位サービスとして、「HABA」の利用促進活動を今後も進めてまいります。

GPSからGNSS時代へとと言われる現在も、スマートフォン等で一般的に利用されているGPS位置情報の取得には、「単独測位」方式が採用されており、その測位精度は数m～10数mとも言われています。本共同開発を中核に、高精度衛星測位システムの高度化への技術実証を進め、インターネットを介し受信機に補正情報を与えることにより、将来的にヒューマン・ナビゲーションに耐える測位精度の向上を実現するサービス提供を視野に、本プロジェクトの利用促進活動を進める計画としております。

今後当社は、既存のスマートフォンを活用した利用実証に協力頂ける企業との連携も進めてまいりますので、御期待ください。

「HABA」プロジェクトとは、Human Activity Based Augmentation 人に優しい測位サービス



- サービス：関東エリア
- 技術実証・利用実証：2016年度（予定）
- 配信方法：公衆無線等

本利用実証にご興味をお持ちの方は、下記まで問い合わせ願います。

e-mail: gsc_info@at45.aisantec.jp

【免責とお断り・注意事項】本通信及び弊社ホームページの記載事項は、株主・投資家の皆様お客様に対し、迅速な情報公開・提供を目的とし、投資勧誘を目的としているものではありません。